

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
地域 づくり ・ 協働	◎小学校区単位の地域づくりの推進 (仮称)	<p>①まちづくり(地域づくり)をリードしていくリーダーの育成と支援を行う。</p> <p>②各小学校区を統括する組織を構築する。(連合組織の設立)</p> <p>③地区公民館活動などの市民活動を市報へ掲載し、全市民が情報を共有していく。</p> <p>④市民参画の組織づくりと田中商店街を中心とした拠点づくりを進める。</p> <p>⑤みんなで地域資源(海野宿、祢津歌舞伎など)を守り大切にしていく活動を進める。</p> <p>⑥小学校PTAとの打合せ回数を増やす。</p> <p>⑦地域づくり支援室の充実など市の支援体制を継続する。</p>	<p>→「まちづくり統括本部」(仮称)を設置する。</p> <p>→小学校区単位の地区の特色(文化、歴史、祭り、行事)やスポーツ活動の取り組みを紹介して更なる向上を図っていく。</p> <p>→地域づくり支援員を効果的に活用し、必要に応じて増員できるようにする。</p>	
	◎まちづくりへの市民参画と協働推進体制の確立(仮称)	<p>①地域づくりを牽引する人づくりを進める。</p> <p>②各区の活動や事業計画を全市民へ情報発信していく。</p> <p>③男女共同参画推進委員会を立ち上げる。</p> <p>④女性の参加を増やす。</p> <p>⑤市報による情報提供を拡充させる。</p> <p>⑥まちづくり懇談会と私のひとことの継続と充実</p> <p>⑦ふれあい、参画、交流の場として「市民喫茶交流サロン(仮称)」をつくる。</p> <p>⑧地区活動等の参加ポイント制の導入</p>	<p>→講演会、フォーラム、まちづくり塾を開催する。</p> <p>→情報を共有化することによって区民の参画を促進するとともに、他地区民の参画も推進する。</p> <p>→現状の推進会議メンバーが固定化、高齢化している実情、新たなメンバーを募って推進体制を強化する必要がある。</p> <p>→全戸に情報伝達するという面では、HP、FMとうみ、ケーブルテレビも大事だが、それよりもペーパーによる伝達のほうが行きわたる。市報におカネをかけて住民参加の啓発を進める。</p> <p>→“市民意見を待つ”スタイルから、あらゆる地域の行事を捉え、“市民意見を取りに行く”スタイルの懇談の機会を設け、市民の参画を進める。</p> <p>→コミュニティ情報を広く市民と共有するため、月に1回から2回、図書館や公共施設を利用して気軽に参加できるサロンのような参画の場づくりを進める。</p> <p>→地域活動や市イベントへの参加をポイント制にして、ポイント毎の特典をつける。</p>	

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
地域 づくり ・ 協働	◎まちづくりの担い手育成とコミュニティ機能の強化（仮称）	<p>①地域づくりを牽引する人づくりを進める</p> <p>②年代、世代別や多年層の“躰”セミナーを開催する。</p> <p>③世代間交流としての清流化活動を進める。</p> <p>④各地区に多目的コミュニティ広場を設置する。</p> <p>⑤高齢者と幼児のふれあいの場をつくる。</p> <p>⑥「市民でできることは市民でやる運動」を全区へ浸透させる。</p>	<p>→講演会、フォーラム、まちづくり塾を開催する。</p> <p>→子どもたちは地域で育てるという大切さを学び「他人の子どもを叱れる大人」を育てる</p> <p>→幼魚が生まれた川に戻る、戻れる環境づくりを地域のみinnで進める</p> <p>→コンビニエンス・ストアに併設した多目的施設を設置し、会議室などを設け、教養娯楽、スポーツ、音楽、芸術を楽しめるようにする。</p> <p>→社協のふれあいいきいきサロンの拡大版として、高齢者と保育園児や小学生とのふれあい交流の機会を設ける。</p> <p>→段階的に子育て中の親も参加できるようにして、将来的には子育て世代と高齢者が交流できるふれあいの場としていく。</p> <p>→自助・共助・公助を常に意識していくために、市民運動を全区で展開する。</p>	
	◎地域コミュニケーションの推進（仮称）	<p>①“市民まつり”を（地域間交流のために）意義を持たせる取り組みにしていくことで充実させる。</p> <p>②市民体育大会を開催する。</p> <p>③市民音楽祭、市民芸術祭を開催する。</p> <p>④市民一斉河川の清掃大会を行う。</p> <p>⑤地域間交流事業を進める。</p>	<p>→運動会、各種スポーツ大会などを5地区対抗で行い、交流を深める。</p> <p>→市民全員参加型の祭典を開催し、一体感の醸成を図る。</p> <p>→参加人数をポイント制にして、区別の対抗戦を行う。活動の優秀区は表彰を行う。</p> <p>→田中商店街を活用したイベントを企画し、地域間交流を進める。</p>	

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
定住促進	<p>◎ I・J・Uターン（移住）の誘導による定住の促進（仮称）</p> <p>※ “住みたい、住み続けたいまちづくり”（仮称）として、施策レベルよりも大きな基本施策レベルに引き上げていくことも検討する必要があります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>今までの議論では、定住、特に若者定住に関して、多くの委員が危機意識をもっているよう受け取れます。</p>	<p>① 特定地域をターゲットにした交流の強化を進める。</p> <p>② 移住定住促進助成事業（仮称）を創設する。</p> <p>③ 東信地区の中心を東御市とする“市内定住構想”を策定する。</p> <p>④ 移住窓口を決め、移住に関する情報を一元的に発信する。</p> <p>⑤ 住みよい環境づくり、子育て支援の充実、教育を柱とする事業を展開する。</p> <p>⑥ “しっかり子育てができるまち”ということをアピールして定住を促す。</p> <p>⑦ I・J・Uターン者の実経験に基づいた東御市のよさPR</p> <p>⑧ 定住者が集う懇親の場をつくる</p> <p>⑨ 若者定住プロジェクト委員会を設置する。</p> <p>⑩ 移住したくなる名所づくりを進める</p> <p>⑪ 確かな産業の受け皿をつくる</p>	<p>→ 東京都大田区との交流のように、特定地域との交流を進める</p> <p>→ 住宅手当（助成金）制度の創設、市営マンション・アパートの設置、保育料助成金制度の創設、保育士の増員による子育ての質的向上サービスをメニュー化する</p> <p>→ 他市で働いても、他市に買い物へ出かけても“住まいは東御市”といった構想を描き、各種制度を整え、シティ・プロモーションする。</p> <p>→ 市報とうみを活用し、移住制度の取り組み内容を掲載して“市民が友人をいざなう”＝“人が人を呼ぶ”仕組みをつくる。</p> <p>→ 都道府県単位のすべての大学へ東御市情報を発信する。</p> <p>→ 子育て支援PR月間を設け、他地区や他の市町村との交流を通じ情報交換を進める“子育てふれあいデー”を企画して実施する。</p> <p>→ 広報誌やHPへ、移住者の実体験報告を掲載していくことを企画し、マスコミ等にPRしていく。</p> <p>→ 定住者間で意見交換する場を設け、市のプラスとマイナスを検証していただき移住促進につなげる。</p> <p>→ 若者定住には何が必要なのかを皆で議論する場を設ける。その前提として若者を定住させるためにはどうしたらよいかを市民アンケート調査し、結果を皆で議論していく。</p> <p>→ 湯の丸のツツジのように、花の名所を他の場所に設けたり、農村環境を育んだりして東御市をPRする。</p> <p>→ 働く場所や魅力を確保しないと人は来ないため、確かな産業（農・工・商）を育成する。</p>	

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
広報・公聴	◎広報、広聴活動の充実（仮称）	<p>①Ｉネットによる直接民主主義への移行を進める。</p> <p>②広報係の一部をアウトソースする。</p> <p>③SNSの活用とホームページへの動画提供</p> <p>※SNSとは？ …SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）とは人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のサービス、あるいはそういったサービスを提供する Web サイトを指します。</p>	<p>→民間感覚の新聞社ノウハウによる“御用聞きスタイル”の取材を導入し、意見、要望、改善、気づき、困っている事や、他の好事例を紹介できるような広報を展開する。</p> <p>→目にする頻度が高い掲示板を幅広く設置して情報提供を進めるほか、市民の声を吸い上げる新しい広聴を進める。</p> <p>SNSのメリット： ①即座に、市民に対し、情報提供ができること、 ②透明性の高い行政を実現し、行政の説明責任を高めることができること、そして何より、③行政と市民の双方向のコミュニケーションを促すことにより、市民目線の行政を実現できることが期待されています。</p>	
	◎市政情報の共有と情報発信（仮称）	<p>①“私のひとこと”の内容を市民へ公開する。</p>	<p>→〇月度の“私のひとこと”というように集計し、すべて市民へ公表することで共有できるようにする。そうすることで“あ、そうだ、じゃ私も”という雰囲気が増えて活性化する。</p>	
行政運営 （計画行政）	◎まちづくり理念とビジョンの共有（仮称）	<p>①消防署の移転を検討する。</p> <p>②警察署を設置する。</p> <p>③市営球場を再配置する。</p> <p>④人口増を期待しない“こじんまりしたまちづくり”</p>	<p>→もっと郊外で広い場所、IC近くの発進しやすい広域幹線道路沿いの高台で市内を一望できる場所へ移転させる。</p> <p>→消防署、警察署、市民病院が一体的に整備されるように配置する。</p> <p>→IC近くで活動しやすい広域幹線道路沿いの北御牧地区に近い場所へ移転させる。</p>	<p>※都市計画に関連するため、都市基盤委員会と並行して議論していく必要があります。</p>

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
(財政運営)	◎計画的な財政運営(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①行政内部監査員のスキルアップを図る。</li> <li>②全て外部監査へと移行させる。</li> <li>③わかりやすい財務情報を公表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→民間からの外部監査委員を活用する。</li> <li>→財務指標を時系列に公開することで、市民がその変化を理解できるようにする。</li> </ul>	
	◎財政基盤の強化(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ソーラー発電所の設置によって財源を創出する。</li> <li>②既存の補助金等事業を見直す。</li> <li>③命名権(ネーミングライツ)を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→地域の特色を最大限に発揮して財源を稼ぎだす取り組みを進める</li> <li>→福祉予算、教育(不登校対策、学力向上対策)、子育て支援(センター、児童館)、受益者負担金などのあり方を見直しを進める。</li> </ul>	
(行政改革)	<p>◎行政組織の効率化と質の高い行政運営の実現(仮称)</p> <p>※「定員の適正化」「人事管理体制の充実」といったように、さらに細分化する必要もあろうと検討されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①業務のアウトソースを進める。</li> <li>②業務の効率化によって残業0を進める。</li> <li>③5人の業務を4人で完了するための作業改善活動を進める。</li> <li>④行政組織全体の市民アンケートを実施する。</li> <li>⑤土・日曜日に休日窓口を開設する。</li> <li>⑥同規模の市との比較、目標となるベンチマークづくりを進める。</li> <li>⑦適正人員を割り出す尺度を決定していく。</li> <li>⑧行政改革大綱の策定と実施を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→生産性の向上、品質管理、コストダウンなど、民間におけるメリットや民間感覚の“気づき”によって業務改善を図る。</li> <li>→事前申請による認可残業を徹底する。</li> <li>→動作のムダの排除、業務のムダの排除、仕事そのもののムダを探って改善を進める。</li> <li>→職員数や職員の仕事ぶりを市民はどう捉えているかについて、率直に市民に聞く。</li> <li>→民間でいう定年後の嘱託職員にあたる退職した職員を活用し、時間を決めて窓口を開設する。</li> <li>→組織の効率化と時代に合わせた組織づくりを進める。</li> </ul>	

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
職員教育	◎職員の意識改革（仮称）	<p>①人材交流を通じた職員研修を進める。</p> <p>②5S改善実践活動を進める。 （5S…整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）</p> <p>③顧客満足度向上研修を進める。</p> <p>④地域へ飛び込む職員教育を進める。</p> <p>⑤新入職員教育の充実。</p>	<p>→民間企業への派遣と企業から職員を招致することや、他市町村との職員交流によって、自他を知り研鑽する。</p> <p>→私たちの給与は誰からいただいているのかを考え、市民・お客様の満足度を高めるためのノウハウを習得する。</p> <p>→職員に各区の役員会や総会へ参加し、交流することを義務付ける。</p>	
シティセールス	<p>◎シティ・アイデンティティを活かした戦略的プロモーションの実現（仮称） 又は“元気発信”シティ・プロモーションの実現”（仮称）</p> <p>※シティ・アイデンティティ …直訳では“市の独自性”</p> <p>※シティ・プロモーション …簡潔いうと、“市の魅力を効果的に伝えること”。</p> <p>地域を持続的に発展させるために、地域の魅力を地域内外に効果的に発信し、それによってヒト・カネ・モノを獲得して地域活力にしていく取り組みのこと。</p>	<p>①道の駅とのアライアンス（協策、共同行動）</p> <p>②トップセールスを拡大させる</p> <p>③懸賞つきの“市を活性化させるアイデア”募集事業を実施する。</p> <p>④とうみの日（10月3日）に市民イベントを開催する。</p> <p>⑤点の観光からルートへの観光をつくる。</p> <p>⑥SNSの活用。</p>	<p>→商工観光課の分室化、食事処の創設、田中駅近くの活性化（ゆうふる田中への宿泊施設の開設、駅周辺の開発、駅の核化、駅を活用した店舗の整備）を進める</p> <p>→公共交通を無料にして市の特産品を定額で提供する取り組みやコンサート、屋外芸術展、食の祭典、東御市の産業展など、官民挙げての一大イベントを開催し、市の魅力を全国に発信する。</p> <p>→北御牧地区に広大な花の名所をつくり、東部ICからの経路沿いに観光施設を点在させて線で結ぶ観光ルートをつくる。</p>	

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
防災	◎防災意識の高揚と防災体制の充実 (仮称)	<p>①東御市事業継続計画（T-BCP）を策定する。 ※BCPとは …災害などリスクが生じた時に重要業務が中断しないこと。万一、事業活動が中断した場合でも目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、リスクを最小限にするため平時から事業継続について戦略的に準備しておく計画</p> <p>②防災マップを活用した訓練を実施する。</p> <p>③有事に備え日常意識を高める“自分の身は自分で守る”地域活動を進める。</p> <p>④身近な火災、犯罪、災害等の連絡網をつくる。 ⑤各区単位のコミュニティ防災計画を策定する。</p>	<p>→地元企業が策定し、市民が共有化する。 (組織、体制、役割、責任、権限)</p> <p>→想定訓練による具体的な避難場所の特定作業などに取り組み、地域マップ化して情報共有を図る。</p> <p>→防災訓練を年1回ということだけでなく、必要に応じて実施し、防災計画を市民に浸透させる。 →浅間山の噴火から川の氾濫、大火、地震等の過去の教訓、過去の災害実例を市民へ広く知らしめるために、文化会館等へ写真やパネルを展示して災害への意識啓発を行う。</p> <p>→市の地域防災計画をベースに、地域の実情に合わせた防災、防犯マニュアルを各区でつくる。</p>	<p>【行政は】 →他市との広域ベンチマークを整える</p>
	◎消防・救急体制の充実(仮称)	<p>①広報に月次の団員紹介コーナーを設ける。</p> <p>②団員相互の交流と加入促進のための交流事業を行う。</p> <p>③消防団OBを活用し新たな消防体制をつくる。</p> <p>④女性も巻き込んだ消防体制をつくる。 ⑤消防団員への優遇策を設ける。</p>	<p>→団員からのコメントや団長のひとことを掲載し、消防への関心、魅力を引き出す。 →団対抗スポーツ大会などイベントを開催する</p> <p>→現役団員は日中地元にはいないため、55歳から65歳の市民を有償ボランティアとして登録し初期消防に従事してもらおう。併せ自営消防、防災班とのネットワークをつくる</p>	
	◎地域防犯活動の推進(仮称)	<p>①ソーラーエネルギーを活用したLED照明の全市的な配備を進める。</p>		